

愛称は...「てっぱく(鉄)

～ 大人も楽しめる！ 有意義な時間を過ごせる ～



E5系と400系新幹線を展示

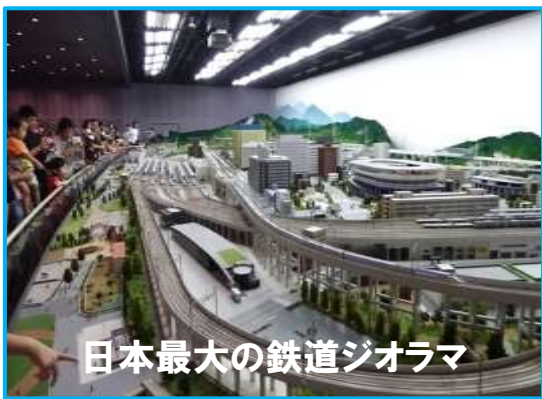
リニューアルした「鉄道博物館」へ(6日)

9月に入ってやっと暑さが少し和らいできた。わが「史跡クラブ」の2カ月に一度の史跡めぐりは7月5日(木)全館リニューアルした『大宮鉄道博物館』を訪れた。クラブのみなさんとは、現地で集合、参加者は6人。早速、館内に入場した。平日にもかかわらず、外国人も含めて多くの鉄道ファンが訪れていた。鉄道博物館の愛称は「てっぱく(鉄博)」。

コンセプトは...、「鉄道」「歴史」「教育」

鉄道博物館のコンセプトは訪れた多くの方々に、(1)日本における鉄道の役割、(2)鉄道技術の変遷、(3)社会への影響などを学んでいただこうとし

ている。そのために館内では、
① 実物車両を当時の情景を再現しながら展示する。② 日本最大の鉄道ジオラマの設置、



日本最大の鉄道ジオラマ

③ 日本初の「DS1」運転台を使ったシミュレータ体験、④ 実物や模型を使った体験学習など、鉄道を身近に感じるコーナーが整備されていた。

南館入り口付近には、平泉・花巻温泉・十和田湖方面などの旅行に便利な東北新幹線の「E5系」の実物大模型。また、奥の細道でおなじみの立石寺・大正ロマンの銀山温泉などに行く際に利用する山形新幹線の「400系」の実物車体がドカンと展示され、いきなり度肝を抜かされる。

新装オープンで新設「ステーション」3ヶ所

また、2018年7月オープンの新館には新たに、

(1) **仕事ステーション1F** 鉄道を支える仕事に挑戦してプロフェッショナルになりきる「体験型ミュージアム」。

(2) **歴史ステーション3F** 歴史の中にタイムスリップし時代が求めた鉄道の姿やそれを支えた人々の熱意を解き明かす「発見型ミュージアム」。

(3) **未来ステーション2F** 未来の鉄道をテーマとし、未来の鉄道に入り込み、これからの鉄道の姿をみんなで考える「創造型ミュージアム」が新設された。

2階に上がると、E5系や山手線などの運転台を再現したシミュレーターが4台あり、車窓の映像を見ながら、本物さながらの運転を楽しめる。

見て、体験して、楽しんで有意義な時間に

その他、鉄道車両年表、模型鉄道ジオラマなどがあって訪れた人を飽きさせない。



運転台シュミレーター

3階は実験型ミュージアムのラーニングホールや、新幹線のラウンジ。R階(屋上)は新幹線、在来線、ニューシャトルの各線を一望できる地上25mの展望台となっている。

私たちは昼食を摂りながら次回「史跡めぐり」の打合せを済ませた後は、それぞれ自由解散とした。見て・体験して・楽しんで有意義な時間を過ごした。

* 入館料金は、大人千三百円 (高齢者割引なし)
* 開館時間は、10時～18時
* 休館日は、毎週火曜日と年末年始(12月29日～翌年1月1日)